

長期優良化への対応訴える

が参加しほぼ満席となった。

このセミナーは全国9カ所で開かれるが、東京会場は7カ所目の開催となった。長期優良住宅化リフォーム推進事業の概要や、顧客への提案につながる劣化対策や省エネ対策の

日本ボレイト(東京都、浅葉健介社長)は長期優良住宅化リフォームセミナーを東京都内で開いた。工務店や設計士など50人近く

解説が中心だった。

劣化対策の解説を行った浅葉社長は、木造住宅の劣化対策が腐食や蟻害による木材の劣化を防ぐことに軸を置いていることを指摘。

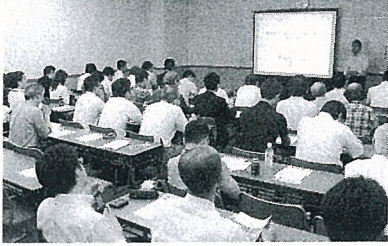
そのうえで、制度上は建築士が現況検査を行い、白アリがどこに侵入しているかは建築士では見つけづらい。白アリの専門家も交えて行わないと大きなトラブルにつながる危険性がある」と述べた。また、羽アリが飛び始める時期とあって黒アリと白アリの見分け方の解説も行われた。

省エネ対策では、断熱材の製造・販売を行

っているデコスの田所

憲一断熱材事業部企画部長が解説を行った。

田所氏は、燃料コストが上昇する現在、顧客は光熱費の上昇への関心を強めていることを話し、リフォーム前後の光熱費をモデルケースで比較して分かりやすく説明するといった手法を紹介した。そのうえで「現状がどうなっているのか、今後はどうなるかを顧客に理解してもらうよう努める必要がある」と述べた。



ほぼ満員となり、説明に聞き入る参加者